

茨城県衛生研究所
令和2年度評価書

令和3年10月
茨城県衛生研究所
評価委員会

【様式6】

□総合評価

評価： AA(3.7) 試験研究機関に期待される役割や目標等に照らし合わせ、質・量の両面において優れたパフォーマンスを実現していると判断できる。

新型コロナウイルス感染症の流行に対して、これまでの人材育成、全組織を挙げたフレキシブルな人材活用、保健所や医療機関等との緊密な連携などにより精度の高い試験検査が実施され、円滑に対応できた。その対応に集中することにより他業務への影響が出る中で、それぞれ目標を達成できたことは大いに評価できる。さらに、研究成果や健康危機管理情報の公表などに関して、組織として高い意識を持っており、この点についても高く評価できる。今後も公衆衛生に資する専門能力を涵養する運営を期待したい。

一方、現状のレベルを維持・向上させるため、中核となる人材の育成・確保に更なる努力が必要である。また、コロナ禍で多くの計画検査が中止となったが、これらも非常に重要であるので、今後の対応について検討してほしい。

□項目別評価

i) 県民に対して提供する業務

1) 調査研究

評価： AA

①柑橘類等の残留農薬多成分一斉分析法に関する調査研究

衛生研究所の重要な業務の一つである残留農薬試験の分析法を改良し、目標を超える農薬の検出が可能となった。丁寧に条件検討して、前処理時間、有機溶媒の使用量及びガラス器具の使用個数も削減できており、SDGsの時代に適合する優れた結果が得られたと評価できる。

②茨城県におけるE型肝炎ウイルスの分析疫学解析

患者と豚・イノシシの明確な関連性は認められなかったが、地域に特徴的なE型肝炎ウイルスタイプが維持されていることを見出した。E型肝炎の感染源について示唆に富む研究で、評価できる。

イノシシは県内の至るところで生育しているため、豚の飼育場所での継続的な調査等により、関連性などが明らかになるとさらに良い。また、論文化などによる結果の公表を望む。

2) 試験検査

評価： AA

他部署からの応援などフレキシブルな体制をとり、年中無休で膨大な数の新型コロナウイルス検査に迅速かつ高い精度で対応し、さらに必要な行政検査などは適切に実施しており、高く評価できる。県の技術的拠点として十分な働きをした。

3) 相談業務

評価： AA

新型コロナウイルス感染症を中心に、臨床の現場や保健所からの多くの相談や質問に対して、的確に回答がなされた。特に検査法の指導は衛生研究所の役割として重要である。また、県民からの問い合わせにもよく対応され、高く評価できる。

4) 研究成果等の活用促進

評価： AA

新型コロナウイルス感染症の対応で多忙な中、学会発表や論文投稿に努力され、海外一流誌に研究成果を公表した。さらに、保健所や関係機関への情報提供、ホームページによる情報発信も行っており、高く評価できる。

5) 外部人材育成、教育活動

評価： A

タイムリーな技術指導や研修を企画し、他の行政機関職員等へ知識・技術の啓発を積極的に行っており、高く評価できる。コロナ禍で学生実習などの受け入れがなかったが、学生にとっては非常に貴重な機会なので、次年度は少しでも実施できると良い。また、Webなどを活用して、研修会を活発に開催してほしい。

6) 広報・普及啓発

評価: AA

新型コロナウイルス感染症に係る情報を始め、必要な情報を適時適切に公表し、さらにYouTube等も活用して幅広い年齢層に伝える努力をされており、県民意識の向上に努めた。また、感染症に対する県民の関心が高まる中、目標以上の出前講座を実施したことは評価できる。

ii) 業務の質的向上、効率化のために実施する方策

1) 全体マネジメント

評価: A

計画的に検査機器の整備が実施されており評価できる。健康危機管理対策の中核機関として、今後とも検査機器や品質保証体制の整備に努めるとともに、調査研究を充実してほしい。

一方、人的資源の限界を超え、業務過多にならないよう留意すべきである。

2) 県民ニーズの把握

評価: A

コロナ禍で難しかったと思うが、業績発表会を開催したり、アンケート等で現場や県民ニーズの把握に努め活動したことは評価できる。

今後も外部機関の会議に積極的に参加するなどして、ニーズの把握に努めてほしい。

3) 他機関との連携

評価: AA

国立試験研究機関や大学、地方衛生研究所等と密接に連携し、高度かつ先駆的な研究を進めており、高く評価できる。

県政や県民ニーズへの対応に関しては、県内試験研究機関との横のつながりが期待される。連携を更に進め、調査研究業務の活性化を図ることにより、健康危機管理事業への対応力を高めてほしい。

4) 調査研究費の獲得

評価: AA

新規事業についても外部競争研究資金(特別電源所在県科学技術振興事業補助金)を確実に獲得しており、高く評価できる。財政状況が厳しい中、調査研究費をしっかりと確保できたことは大きい。継続的な努力と成果の賜物と考える。

今後も他の外部資金獲得にチャレンジするなど、調査研究業務の拡充に努めてほしい。

5) 内部人材育成

評価: AA

コロナ禍で中止される研修会が多い中、オンラインで積極的に参加した。また、職員の博士号取得や充実したOJTの実施など、研究員の人材育成を組織的に取り組んでおり高く評価できる。

今後も、若い人材の育成に特に力を入れるべきである。

評価項目 (年度実施計画)	衛生研究所の自己評価		評価委員会評価	
	評価	計画達成の状況	評価	評価における特記事項
i) 県民に対して提供する業務	1) 調査研究	A	AA	○質・量の両面において目標を超えた優れたパフォーマンスを実現
	2) 試験検査	AA	AA	○質・量の両面において目標を超えた優れたパフォーマンスを実現
	3) 相談業務	AA	AA	○質・量の両面において目標を超えた優れたパフォーマンスを実現

試験項目	件数 (R2 年度実績)	衛生研究所 担当部
食肉の試験検査	依頼なし	細菌部
農産物漬物の試験検査	依頼なし	細菌部
輸入食品の試験検査	依頼なし	理化学部
夏期及び年末食品一斉取締りに係る食品の試験検査	87検体	細菌部
認定小規模食鳥処理場微生物検査	依頼なし	細菌部
県内産魚介類の寄生虫検査	依頼なし	細菌部
水道水質調査事業に伴う試験検査	依頼なし	細菌部
感染症流行予測調査事業に伴う試験検査	680検体	ウイルス部
蚊の生息状況調査	依頼なし	ウイルス部
二枚貝中のノロウイルスの試験検査	依頼なし	ウイルス部
県内流通医薬品等の試験検査	48検体	理化学部
後発医薬品の試験検査	依頼なし	理化学部
医療機器の試験検査	依頼なし	細菌部
無承認無許可医薬品の試験検査	24検体	理化学部
家庭用品の試買試験検査	150検体	理化学部
指定薬物等の試験検査	依頼なし	理化学部
食品の残留農薬試験検査	依頼なし	理化学部
遺伝子組換え食品の試験検査	依頼なし	理化学部
食品添加物の試験検査	依頼なし	理化学部
加工食品の放射性物質試験検査	依頼なし	理化学部
水道水の放射性物質試験検査	98検体	理化学部

試験項目	件数 (R2 年度実績)	衛生研究所 担当部
感染症法に基づく届出に伴う疾患の試験検査	53検体	細菌部
	23,996検体	ウイルス部
感染症の発生の状況及び動向の把握に伴う試験検査	依頼なし	細菌部
	96検体	ウイルス部
感染症の発生予防及びまん延防止に伴う試験検査	482検体	細菌部
	93検体	ウイルス部
結核対策予防事業に伴う試験検査	80検体	細菌部
犬の狂犬病検査	5検体	ウイルス部
化学物質に係る試験検査	依頼なし	理化学部
	521検体	細菌部
食中毒及び苦情食品に伴う試験検査	241検体	ウイルス部
	依頼なし	理化学部
レジオネラ病防止に伴う試験検査	27検体	細菌部
イノシシ肉の放射性物質検査	20検体	理化学部

評価項目 (年度実施計画)	衛生研究所の自己評価		評価委員会評価																									
	評価	計画達成の状況	評価	評価における特記事項																								
i) 県民に対して提供する業務	AA	<p>○質・量の両面において目標を超えた優れたパフォーマンスを実現</p> <p>○今年度も当所研究員が筆頭著者として学術誌に投稿し、掲載された。 また、機関誌等への投稿、学会等での発表及びホームページに掲載することにより、積極的に成果の活用・普及促進に努めた。</p> <p>【実績】学会・研修会での発表：7回</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>発表題目</th> <th>学会・研修会等名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>感染症対策における茨城県衛生研究所の取り組み</td> <td>第61回日本臨床ウイルス学会 共催セミナー</td> </tr> <tr> <td>茨城県内で発生した結核集団感染症事例における全ゲノム解析の実施</td> <td rowspan="2">日本感染症学会第63回中日本・第90回西日本地方会学術集会</td> </tr> <tr> <td>茨城県における梅毒患者の実態調査に関する研究について</td> </tr> <tr> <td>茨城県における急性脳炎に關する次世代シーケンサーを用いた病原体検索</td> <td rowspan="2">令和2年度「地域保健総合推進事業」関東甲信静ブロック地域専門家会議</td> </tr> <tr> <td>茨城県における次世代シーケンサーの活用について</td> </tr> <tr> <td>薬剤耐性対策に係る茨城県の普及啓発事業</td> <td>第31回茨城県薬剤師学術大会</td> </tr> <tr> <td>ワークショップ 初心者でもわかる積極的分子疫学調査～どう活用するか～</td> <td>第25回国際結核セミナー 令和2年度結核対策推進会議</td> </tr> </tbody> </table> <p>【実績】学会誌等への投稿：9本</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>原著論文・機関誌等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>Evolutionary Analysis of the VP1 and RNA-Dependent RNA Polymerase Regions of Human Norovirus GIIP17-GII.17 in 2013-2017. Front Microbiol. (共著) Matsushima Y, Mizukoshi F, Sakon N, Yen Hai Doan, Ueki Y, Ogawa Y, Motoya T, Tsukagoshi H, Nakamura N, Shigemoto N, Yoshitomi H, Okamoto-Nakagawa R, Suzuki R, Tsutsui R, Terasoma F, Takahashi T, Sadamasu K, Shimizu H, Okabe N, Nagasawa K, Aso J, Ishii H, Kuroda M, Ryo A, Katayama K, Kimura H, September 2019 【昨年度報告漏れ】</td> </tr> <tr> <td>Contrasting Results From Two Commercial Kits Testing for the Presence of Clostridium Perfringens Enterotoxin in Feces From Norovirus-Infected Human Patients. Clin Lab. (共著) Ishioka T, Aihara Y, Carle Y, Shigemura H, Kubomura A, Motoya T, Nakamoto A, Nakamura A, Fujimoto S, Hirai S, Oishi K, Nagaoka H, Kimura H, Murakami K, May 2020</td> </tr> <tr> <td>Development of Monoclonal Antibodies and Antigen-Capture ELISA for Human Parechovirus Type 3. Microorganisms. Goto K, Yamaoka Y, Khatun H, Miyakawa K, Nishi M, Nagata N, Yanaoka T, Kimura H, Ryo A, September 2020</td> </tr> <tr> <td>A genome epidemiological study of SARS-CoV-2 introduction into Japan. Lancet Infectious Disease. (共著) Sekizuka T, Itokawa K, Hashino M, Kawano-Sugaya T, Tanaka R, Yatsu K, Ohnishi A, Goto K, Tsukagoshi H, Ehara H, Sadomasu K, Taira M, Shibata S, Nomoto R, Hiroi S, Toho M, Shimada T, Matsui T, Sunagawa T, Taira M, Shibata S, Yahata Y, Yamagishi T, Suzuki M, Wakita T, Kuroda M, November 2020</td> </tr> <tr> <td>A Longitudinal Study on Enteric Virus Contamination in Bivalves along the Coast of Ibaraki Prefecture, Japan. Journal of Food Protection. Motoya T, Nagata N, Kashimura R, Ohashi K, Saito A, Osawa S, Goto K, Iwama S, Yanaoka T, Okayama K, Hirai S, Sugai T, Murakami K, Ishioka T, Ryo A, Katayama K, Kimura H, January 2021</td> </tr> <tr> <td>茨城県衛生研究所における結核菌分子疫学解析の取り組み：複十字 No.393 熊本有美 2020年7月</td> </tr> <tr> <td>茨城県における新型コロナウイルス感染症流行第1波の記述疫学：病原微生物検出情報 (IASR) Vol.41, No.8 (No.486) 熊本有美 2020年8月</td> </tr> <tr> <td>茨城県における梅毒患者の実態調査に関する研究：令和2年度茨城県県立試験研究機関成果集 梅澤美穂 令和3年3月</td> </tr> <tr> <td>ヒスタミンの迅速分析法の検討：令和2年度茨城県県立試験研究機関成果集 湯浅全世 令和3年3月</td> </tr> </tbody> </table> <p>○行政施策を科学的・技術的側面より支援できるよう積極的に調査研究に努めた。 ・調査研究において習得した技術を活用して、新型コロナウイルス(主にクラスター事例)の全ゲノム解析を行い、保健所等に情報提供して感染症対策に寄与した。 ・「茨城県内におけるカルバペネム耐性菌等の実態調査に関する研究」等において、菌株提供医療機関に対し薬剤耐性遺伝子の検出結果を情報提供したほか、ホームページ等により広く情報還元した。</p>	発表題目	学会・研修会等名	感染症対策における茨城県衛生研究所の取り組み	第61回日本臨床ウイルス学会 共催セミナー	茨城県内で発生した結核集団感染症事例における全ゲノム解析の実施	日本感染症学会第63回中日本・第90回西日本地方会学術集会	茨城県における梅毒患者の実態調査に関する研究について	茨城県における急性脳炎に關する次世代シーケンサーを用いた病原体検索	令和2年度「地域保健総合推進事業」関東甲信静ブロック地域専門家会議	茨城県における次世代シーケンサーの活用について	薬剤耐性対策に係る茨城県の普及啓発事業	第31回茨城県薬剤師学術大会	ワークショップ 初心者でもわかる積極的分子疫学調査～どう活用するか～	第25回国際結核セミナー 令和2年度結核対策推進会議	原著論文・機関誌等	Evolutionary Analysis of the VP1 and RNA-Dependent RNA Polymerase Regions of Human Norovirus GIIP17-GII.17 in 2013-2017. Front Microbiol. (共著) Matsushima Y, Mizukoshi F, Sakon N, Yen Hai Doan, Ueki Y, Ogawa Y, Motoya T, Tsukagoshi H, Nakamura N, Shigemoto N, Yoshitomi H, Okamoto-Nakagawa R, Suzuki R, Tsutsui R, Terasoma F, Takahashi T, Sadamasu K, Shimizu H, Okabe N, Nagasawa K, Aso J, Ishii H, Kuroda M, Ryo A, Katayama K, Kimura H, September 2019 【昨年度報告漏れ】	Contrasting Results From Two Commercial Kits Testing for the Presence of Clostridium Perfringens Enterotoxin in Feces From Norovirus-Infected Human Patients. Clin Lab. (共著) Ishioka T, Aihara Y, Carle Y, Shigemura H, Kubomura A, Motoya T, Nakamoto A, Nakamura A, Fujimoto S, Hirai S, Oishi K, Nagaoka H, Kimura H, Murakami K, May 2020	Development of Monoclonal Antibodies and Antigen-Capture ELISA for Human Parechovirus Type 3. Microorganisms. Goto K, Yamaoka Y, Khatun H, Miyakawa K, Nishi M, Nagata N, Yanaoka T, Kimura H, Ryo A, September 2020	A genome epidemiological study of SARS-CoV-2 introduction into Japan. Lancet Infectious Disease. (共著) Sekizuka T, Itokawa K, Hashino M, Kawano-Sugaya T, Tanaka R, Yatsu K, Ohnishi A, Goto K, Tsukagoshi H, Ehara H, Sadomasu K, Taira M, Shibata S, Nomoto R, Hiroi S, Toho M, Shimada T, Matsui T, Sunagawa T, Taira M, Shibata S, Yahata Y, Yamagishi T, Suzuki M, Wakita T, Kuroda M, November 2020	A Longitudinal Study on Enteric Virus Contamination in Bivalves along the Coast of Ibaraki Prefecture, Japan. Journal of Food Protection. Motoya T, Nagata N, Kashimura R, Ohashi K, Saito A, Osawa S, Goto K, Iwama S, Yanaoka T, Okayama K, Hirai S, Sugai T, Murakami K, Ishioka T, Ryo A, Katayama K, Kimura H, January 2021	茨城県衛生研究所における結核菌分子疫学解析の取り組み：複十字 No.393 熊本有美 2020年7月	茨城県における新型コロナウイルス感染症流行第1波の記述疫学：病原微生物検出情報 (IASR) Vol.41, No.8 (No.486) 熊本有美 2020年8月	茨城県における梅毒患者の実態調査に関する研究：令和2年度茨城県県立試験研究機関成果集 梅澤美穂 令和3年3月	ヒスタミンの迅速分析法の検討：令和2年度茨城県県立試験研究機関成果集 湯浅全世 令和3年3月	AA	○質・量の両面において目標を超えた優れたパフォーマンスを実現
		発表題目	学会・研修会等名																									
感染症対策における茨城県衛生研究所の取り組み	第61回日本臨床ウイルス学会 共催セミナー																											
茨城県内で発生した結核集団感染症事例における全ゲノム解析の実施	日本感染症学会第63回中日本・第90回西日本地方会学術集会																											
茨城県における梅毒患者の実態調査に関する研究について																												
茨城県における急性脳炎に關する次世代シーケンサーを用いた病原体検索	令和2年度「地域保健総合推進事業」関東甲信静ブロック地域専門家会議																											
茨城県における次世代シーケンサーの活用について																												
薬剤耐性対策に係る茨城県の普及啓発事業	第31回茨城県薬剤師学術大会																											
ワークショップ 初心者でもわかる積極的分子疫学調査～どう活用するか～	第25回国際結核セミナー 令和2年度結核対策推進会議																											
原著論文・機関誌等																												
Evolutionary Analysis of the VP1 and RNA-Dependent RNA Polymerase Regions of Human Norovirus GIIP17-GII.17 in 2013-2017. Front Microbiol. (共著) Matsushima Y, Mizukoshi F, Sakon N, Yen Hai Doan, Ueki Y, Ogawa Y, Motoya T, Tsukagoshi H, Nakamura N, Shigemoto N, Yoshitomi H, Okamoto-Nakagawa R, Suzuki R, Tsutsui R, Terasoma F, Takahashi T, Sadamasu K, Shimizu H, Okabe N, Nagasawa K, Aso J, Ishii H, Kuroda M, Ryo A, Katayama K, Kimura H, September 2019 【昨年度報告漏れ】																												
Contrasting Results From Two Commercial Kits Testing for the Presence of Clostridium Perfringens Enterotoxin in Feces From Norovirus-Infected Human Patients. Clin Lab. (共著) Ishioka T, Aihara Y, Carle Y, Shigemura H, Kubomura A, Motoya T, Nakamoto A, Nakamura A, Fujimoto S, Hirai S, Oishi K, Nagaoka H, Kimura H, Murakami K, May 2020																												
Development of Monoclonal Antibodies and Antigen-Capture ELISA for Human Parechovirus Type 3. Microorganisms. Goto K, Yamaoka Y, Khatun H, Miyakawa K, Nishi M, Nagata N, Yanaoka T, Kimura H, Ryo A, September 2020																												
A genome epidemiological study of SARS-CoV-2 introduction into Japan. Lancet Infectious Disease. (共著) Sekizuka T, Itokawa K, Hashino M, Kawano-Sugaya T, Tanaka R, Yatsu K, Ohnishi A, Goto K, Tsukagoshi H, Ehara H, Sadomasu K, Taira M, Shibata S, Nomoto R, Hiroi S, Toho M, Shimada T, Matsui T, Sunagawa T, Taira M, Shibata S, Yahata Y, Yamagishi T, Suzuki M, Wakita T, Kuroda M, November 2020																												
A Longitudinal Study on Enteric Virus Contamination in Bivalves along the Coast of Ibaraki Prefecture, Japan. Journal of Food Protection. Motoya T, Nagata N, Kashimura R, Ohashi K, Saito A, Osawa S, Goto K, Iwama S, Yanaoka T, Okayama K, Hirai S, Sugai T, Murakami K, Ishioka T, Ryo A, Katayama K, Kimura H, January 2021																												
茨城県衛生研究所における結核菌分子疫学解析の取り組み：複十字 No.393 熊本有美 2020年7月																												
茨城県における新型コロナウイルス感染症流行第1波の記述疫学：病原微生物検出情報 (IASR) Vol.41, No.8 (No.486) 熊本有美 2020年8月																												
茨城県における梅毒患者の実態調査に関する研究：令和2年度茨城県県立試験研究機関成果集 梅澤美穂 令和3年3月																												
ヒスタミンの迅速分析法の検討：令和2年度茨城県県立試験研究機関成果集 湯浅全世 令和3年3月																												
5) 外部人材育成・教育活動	A	<p>○質・量の両面において概ね令和2年度計画を達成</p> <p>○保健所及び医療機関等を対象に「ゆうパックによる検体送付のための研修会」の技術的指導や、外部講師を招聘して「新型コロナウイルス研修会」等を開催するとともに研修内容を関係機関に伝達し、専門的知識及び最新の情報を提供した。</p> <p>【実績】保健所等への専門的研修会：5回</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>研修会・講座名</th> <th>対象者等</th> <th>参加者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>新型コロナウイルス研修会</td> <td>当所職員、保健所職員、行政担当者</td> <td>44</td> </tr> <tr> <td>令和2年度新規採用養護教諭研修講座</td> <td>新規採用養護教諭</td> <td>32</td> </tr> <tr> <td>令和2年度水道水測定分析外部精度管理</td> <td>水道事業者、検査機関</td> <td>12</td> </tr> <tr> <td>薬剤耐性対策研修「かんたん経口抗生薬の使い方」</td> <td>医療機関、保健所 ほか</td> <td>約600回 再生</td> </tr> <tr> <td>ゆうパックによる検体送付のための担当者研修会(Web開催)</td> <td>医療機関、保健所担当者</td> <td>128</td> </tr> </tbody> </table> <p>○新型コロナウイルス感染症の影響により研修生の受け入れがなかった。</p>	研修会・講座名	対象者等	参加者数	新型コロナウイルス研修会	当所職員、保健所職員、行政担当者	44	令和2年度新規採用養護教諭研修講座	新規採用養護教諭	32	令和2年度水道水測定分析外部精度管理	水道事業者、検査機関	12	薬剤耐性対策研修「かんたん経口抗生薬の使い方」	医療機関、保健所 ほか	約600回 再生	ゆうパックによる検体送付のための担当者研修会(Web開催)	医療機関、保健所担当者	128	A	○質・量の両面において概ね令和2年度計画を達成						
研修会・講座名	対象者等	参加者数																										
新型コロナウイルス研修会	当所職員、保健所職員、行政担当者	44																										
令和2年度新規採用養護教諭研修講座	新規採用養護教諭	32																										
令和2年度水道水測定分析外部精度管理	水道事業者、検査機関	12																										
薬剤耐性対策研修「かんたん経口抗生薬の使い方」	医療機関、保健所 ほか	約600回 再生																										
ゆうパックによる検体送付のための担当者研修会(Web開催)	医療機関、保健所担当者	128																										
6) 広報・普及啓発	AA	<p>○質・量の両面において目標を超えた優れたパフォーマンスを実現</p> <p>(1) 感染症情報センター ・感染症発生動向調査事業に基づき、感染症の情報を日々収集・解析し、週報及び月報としてホームページに掲載し、情報提供を行った。 ・薬剤耐性菌による感染症(特に CRE 感染症)の発生状況をまとめてホームページに掲載し、四半期ごとに更新した。 ・「茨城県における梅毒患者の実態調査」の結果をホームページに掲載し、県民へ注意喚起を行った。 ・当所の YouTube チャンネルを開設し、医薬品の試験検査に係る動画等を作成してホームページに掲載した。本動画は Web 開催となった「いばらきのくすり展」等で活用した。 ・当所及び水戸市保健所における新型コロナウイルス検査実施状況について、ホームページで県民等へ情報提供し、平日に毎日更新した。 ・なお、新型コロナウイルス感染症に係る各種ホームページは、県のホームページ閲覧ランキングで常に上位を占め、県民ニーズの高さがうかがえた。</p>	AA	○質・量の両面において目標を超えた優れたパフォーマンスを実現																								

評価項目 (年度実施計画)	衛生研究所の自己評価		評価委員会評価																																																																												
	評価	計画達成の状況	評価	評価における特記事項																																																																											
i) 県民に対して提供する業務		<p>【実績】 ホームページ掲載公衆衛生情報: 251回 (県民への広報: 6回, 流行情報: 245回)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>月</th> <th>掲載タイトル</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>6月</td> <td>・薬剤耐性菌による感染症の発生状況</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">10月</td> <td>・薬剤耐性菌による感染症の発生状況</td> </tr> <tr> <td>・衛生研究所「令和2年度いばらきのくすり展」 ・知っていますか？薬の品質の話</td> </tr> <tr> <td>3月</td> <td>・薬剤耐性菌による感染症の発生状況 ・梅毒に注意！</td> </tr> </tbody> </table> <p>その他、年間を通して「新型コロナウイルス感染症に係る検査状況」を更新 (245回)</p> <p>(2) 県民意識の醸成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会福祉団体等を対象に出前講座や研修会を開催した。 ・健康プラザでパネルを展示し、県民に分かりやすく啓発した。 ・一般県民向けの当研究所業務紹介パンフレットを活用し、広報した。 ・薬剤耐性対策に係る普及啓発事業において、県民向け啓発ポスターの作成・配付、啓発パネルの作成・展示、県報やラジオ番組での広報、ホームページの更新などを行った。 <p>【実績】 出前講座・研修会: 12回</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>出前講座・研修会名</th> <th>依頼者</th> <th>場所</th> <th>参加者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>感染症の基礎と予防対策</td> <td>新治工業倶楽部</td> <td>かずみがうら市</td> <td>13</td> </tr> <tr> <td>感染症の基礎と予防対策</td> <td>高萩市市民生活部危機対策課</td> <td>高萩市</td> <td>46</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">感染症の基礎と予防対策</td> <td rowspan="2">(一社)茨城県立聴覚障害者協会</td> <td rowspan="2">水戸市</td> <td>15</td> </tr> <tr> <td>5</td> </tr> <tr> <td>感染症の基礎と予防対策</td> <td>日立市らぼーる協会</td> <td>日立市</td> <td>40</td> </tr> <tr> <td>感染症の基礎と予防対策</td> <td>那珂市ボランティア連絡協議会</td> <td>那珂市</td> <td>35</td> </tr> <tr> <td>感染症の基礎と予防対策</td> <td>(公財)茨城県老人クラブ連合会</td> <td>水戸市</td> <td>32</td> </tr> <tr> <td>感染症の基礎と予防対策</td> <td>笠間市笠間地区民生委員児童委員協議会</td> <td>笠間市</td> <td>33</td> </tr> <tr> <td>感染症の基礎と予防対策</td> <td>稲敷市教育委員会生涯学習課</td> <td>稲敷市</td> <td>29</td> </tr> <tr> <td>感染症の基礎と予防対策</td> <td>(一社)ライフ・ケア・ひたち</td> <td>日立市</td> <td>38</td> </tr> <tr> <td>新型コロナウイルス感染症の現状について</td> <td>茨城県毒物劇物保安協会</td> <td>水戸市</td> <td>64</td> </tr> <tr> <td>感染症の基礎と予防対策</td> <td>日立市連合民生委員児童委員協議会</td> <td>(書面開催)</td> <td>350</td> </tr> </tbody> </table> <p>・パネル展示: 12テーマ</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>タイトル</th> <th>展示場所・イベント等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>麻しん、風しんワクチンを受けましょう</td> <td rowspan="12">健康プラザ</td> </tr> <tr> <td>食品と水の放射性物質試験検査</td> </tr> <tr> <td>新型コロナウイルス感染症の基礎</td> </tr> <tr> <td>お肉はよく焼こう!!カンピロバクター食中毒について</td> </tr> <tr> <td>ロタウイルスワクチンが定期接種となりました</td> </tr> <tr> <td>茨城県衛生研究所の残留農薬検査</td> </tr> <tr> <td>風邪に抗菌薬は効きません!!</td> </tr> <tr> <td>食中毒の原因寄生虫</td> </tr> <tr> <td>家庭用品に含まれるホルムアルデヒドの試験検査</td> </tr> <tr> <td>ウイルス分離培養検査ってなに？</td> </tr> <tr> <td>結核は「昔の病気」ではありません！</td> </tr> <tr> <td>コロナ禍でも流行中の感染症～梅毒～</td> </tr> </tbody> </table>			月	掲載タイトル	6月	・薬剤耐性菌による感染症の発生状況	10月	・薬剤耐性菌による感染症の発生状況	・衛生研究所「令和2年度いばらきのくすり展」 ・知っていますか？薬の品質の話	3月	・薬剤耐性菌による感染症の発生状況 ・梅毒に注意！	出前講座・研修会名	依頼者	場所	参加者数	感染症の基礎と予防対策	新治工業倶楽部	かずみがうら市	13	感染症の基礎と予防対策	高萩市市民生活部危機対策課	高萩市	46	感染症の基礎と予防対策	(一社)茨城県立聴覚障害者協会	水戸市	15	5	感染症の基礎と予防対策	日立市らぼーる協会	日立市	40	感染症の基礎と予防対策	那珂市ボランティア連絡協議会	那珂市	35	感染症の基礎と予防対策	(公財)茨城県老人クラブ連合会	水戸市	32	感染症の基礎と予防対策	笠間市笠間地区民生委員児童委員協議会	笠間市	33	感染症の基礎と予防対策	稲敷市教育委員会生涯学習課	稲敷市	29	感染症の基礎と予防対策	(一社)ライフ・ケア・ひたち	日立市	38	新型コロナウイルス感染症の現状について	茨城県毒物劇物保安協会	水戸市	64	感染症の基礎と予防対策	日立市連合民生委員児童委員協議会	(書面開催)	350	タイトル	展示場所・イベント等	麻しん、風しんワクチンを受けましょう	健康プラザ	食品と水の放射性物質試験検査	新型コロナウイルス感染症の基礎	お肉はよく焼こう!!カンピロバクター食中毒について	ロタウイルスワクチンが定期接種となりました	茨城県衛生研究所の残留農薬検査	風邪に抗菌薬は効きません!!	食中毒の原因寄生虫	家庭用品に含まれるホルムアルデヒドの試験検査	ウイルス分離培養検査ってなに？	結核は「昔の病気」ではありません！	コロナ禍でも流行中の感染症～梅毒～		
		月	掲載タイトル																																																																												
		6月	・薬剤耐性菌による感染症の発生状況																																																																												
		10月	・薬剤耐性菌による感染症の発生状況																																																																												
			・衛生研究所「令和2年度いばらきのくすり展」 ・知っていますか？薬の品質の話																																																																												
		3月	・薬剤耐性菌による感染症の発生状況 ・梅毒に注意！																																																																												
		出前講座・研修会名	依頼者	場所	参加者数																																																																										
		感染症の基礎と予防対策	新治工業倶楽部	かずみがうら市	13																																																																										
		感染症の基礎と予防対策	高萩市市民生活部危機対策課	高萩市	46																																																																										
		感染症の基礎と予防対策	(一社)茨城県立聴覚障害者協会	水戸市	15																																																																										
5																																																																															
感染症の基礎と予防対策	日立市らぼーる協会	日立市	40																																																																												
感染症の基礎と予防対策	那珂市ボランティア連絡協議会	那珂市	35																																																																												
感染症の基礎と予防対策	(公財)茨城県老人クラブ連合会	水戸市	32																																																																												
感染症の基礎と予防対策	笠間市笠間地区民生委員児童委員協議会	笠間市	33																																																																												
感染症の基礎と予防対策	稲敷市教育委員会生涯学習課	稲敷市	29																																																																												
感染症の基礎と予防対策	(一社)ライフ・ケア・ひたち	日立市	38																																																																												
新型コロナウイルス感染症の現状について	茨城県毒物劇物保安協会	水戸市	64																																																																												
感染症の基礎と予防対策	日立市連合民生委員児童委員協議会	(書面開催)	350																																																																												
タイトル	展示場所・イベント等																																																																														
麻しん、風しんワクチンを受けましょう	健康プラザ																																																																														
食品と水の放射性物質試験検査																																																																															
新型コロナウイルス感染症の基礎																																																																															
お肉はよく焼こう!!カンピロバクター食中毒について																																																																															
ロタウイルスワクチンが定期接種となりました																																																																															
茨城県衛生研究所の残留農薬検査																																																																															
風邪に抗菌薬は効きません!!																																																																															
食中毒の原因寄生虫																																																																															
家庭用品に含まれるホルムアルデヒドの試験検査																																																																															
ウイルス分離培養検査ってなに？																																																																															
結核は「昔の病気」ではありません！																																																																															
コロナ禍でも流行中の感染症～梅毒～																																																																															

評価項目 (年度実施計画)	衛生研究所の自己評価		評価委員会評価																																																					
	評価	計画達成の状況	評価	評価における特記事項																																																				
ii) 業務の質的向上・効率化のために実施する方策	1) 全体マネジメント	A <ul style="list-style-type: none"> ○質・量の両面において概ね令和2年度計画を達成 ア 検査機器の整備 <ul style="list-style-type: none"> ○更新計画の見直しを行うとともに、計画に基づき機器整備を実施した。 <ul style="list-style-type: none"> ・高圧蒸気滅菌器、遠心分離機、サーマルサイクラー、薬用冷蔵ショーケース、電子天秤、バイオメディカルクーラー、バイオメディカルフリーザー、高速液体クロマトグラフ、ロータリーエバポレーター等 イ 品質保証体制の整備 <ul style="list-style-type: none"> (ア) 感染症法に係る検査体制の整備 <ul style="list-style-type: none"> ・感染症法に係る病原体検査の信頼性確保のため、例年、本庁（疾病対策課）の内部監査を受けているが、新型コロナウイルス感染症に係る業務多忙により中止となった。 (イ) 食品GLPに係る検査体制の整備 <ul style="list-style-type: none"> ・新任職員に対して食品GLPに関する研修会を実施した。 (ウ) 医薬品PIC/Sに係る体制の整備 <ul style="list-style-type: none"> ・試験検査 SOP（アトルバスタチンカルシウム錠定量試験、ランソプラゾール腸溶性口腔内崩壊錠定量試験、グリメピリド錠溶出試験）、機器保守 SOP（試験液加熱脱気タンク保守管理）を追加制定した。 ウ 職員間における情報共有及び所内での定期的な進捗管理 <ul style="list-style-type: none"> ・月2回開催している所内部長会議や各部内で情報を共有し、業務等の進捗状況について確認した。 ・感染症及び食中毒に係る情報共有・意見交換のため、3部合同のミーティングを月2回行った。 ・中堅職員（主任研究員及び主任）と所長の意見交換を月1回行い、職場環境の見直し・改善を行った。 エ 機関評価委員会及び調査研究・企画評価委員会による適正な評価 <ul style="list-style-type: none"> ・機関評価委員会（9/28 書面開催、1/25Web 開催） ・調査研究企画・評価委員会（9/28 書面開催） <ul style="list-style-type: none"> 委員会を2回開催し、新たな中期運営計画を策定するため、事前評価を受けた。 また、調査研究では、完了報告1題、中間報告1題、追跡報告1題及び新規研究3題について評価を受け、研究成果の普及や調査研究事業計画の見直し等に反映させた。 	A	○質・量の両面において概ね令和2年度計画を達成																																																				
	2) 県民ニーズの把握	A <ul style="list-style-type: none"> ○質・量の両面において概ね令和2年度計画を達成 ・会議や研修会等の場を活用して、保健所及び関係機関と意見交換会を行い、年度計画や業務の進め方、食中毒・苦情対応の実態等を把握した。 ・いばらき予防医学プラザ（県立健康プラザ、中央保健所、精神保健福祉センター及び衛生研究所）及び水戸市保健所による業績発表会を開催し、調査研究等事業内容の相互理解と県民ニーズの把握充実に努めた。 ・出前講座や研修会でアンケート調査を実施し、県民ニーズの把握に努めた。 ・茨城県薬剤耐性対策推進会議の委員と本県のAMR対策活動について議論し、現場ニーズを把握した。また、いばらきネットモニターアンケートを実施し、抗菌薬等に関する県民の認識を調査した。 【実績】 <ul style="list-style-type: none"> ・意見交換会の実施：4回 <ul style="list-style-type: none"> ・食品衛生担当者会議、薬事担当者会議、業績発表会、茨城県薬剤耐性対策推進会議（書面開催） ・出前講座・研修会等：12回（再掲） （詳細は、上記 6) 広報・普及啓発 (2) 県民意識の醸成と同じ。） 	A	○質・量の両面において概ね令和2年度計画を達成																																																				
	3) 他機関との連携	A <ul style="list-style-type: none"> ○質・量の両面において概ね令和2年度計画を達成 調査研究業務の活性化及び試験検査の突発的な対応等に備えた体制の構築・強化に努めた。 ○ 調査研究に係る研究機関等との連携 <ul style="list-style-type: none"> 横浜市立大学等との共同研究6題、研究協力6題を行った。 <table border="1" data-bbox="379 1348 1177 2056"> <thead> <tr> <th>研究区分</th> <th>研究テーマ(研究代表者等)</th> <th>連携機関</th> <th>期間(年度)</th> <th>担当部</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="6">共同研究</td> <td>病原性ウイルスのプロテオミクス解析（衛生研究所 後藤慶子）</td> <td>横浜市立大学医学部微生物学（梁 明秀）</td> <td>H29～R2</td> <td>ウイルス部</td> </tr> <tr> <td>野生動物における人獣共通感染症の網羅的病原体解析に関する研究（衛生研究所 後藤慶子）</td> <td>群馬バース大学大学院保健科学研究科（木村博一）</td> <td>H30～R4</td> <td>ウイルス部</td> </tr> <tr> <td>茨城県内におけるカルバペネム耐性菌等の実態調査に関する研究（衛生研究所 相原義之）</td> <td>国立感染症研究所 県立中央病院 日立総合病院 JAととりて総合医療センター 県立医療大学付属病院 土浦協同病院 筑波メディカルセンター病院</td> <td>R1～R3</td> <td>細菌部</td> </tr> <tr> <td>核酸認証標準物質を用いた PCR 検査の精度管理システムについての実証研究（衛生研究所 後藤慶子、大澤修一）</td> <td>産業技術総合研究所</td> <td>R2～R3</td> <td>ウイルス部</td> </tr> <tr> <td>ゲノム高次構造解析を基盤とする新型コロナウイルスの病原性解明に関する試験研究（衛生研究所 後藤慶子）</td> <td>群馬バース大学大学院保健科学研究科（木村博一）</td> <td>R2～R4</td> <td>ウイルス部</td> </tr> <tr> <td>茨城県内におけるリケッチャ保有マダニの浸潤状況の解明（衛生研究所 大澤修一）</td> <td>筑波大学附属病院感染症科（喜安嘉彦）</td> <td>R2～R7</td> <td>ウイルス部</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">研究協力</td> <td>病原体ゲノミクスを基礎とした病原体検索システムの利活用に関する研究（黒田誠）村上班</td> <td rowspan="3">国立感染症研究所 感染症疫学センター</td> <td>R1～R3</td> <td>企画情報部</td> </tr> <tr> <td>病原体ゲノミクスを基礎とした病原体検索システムの利活用に関する研究（黒田誠）木村班</td> <td>R1～R3</td> <td>ウイルス部</td> </tr> <tr> <td>ウイルス性下痢症の網羅的分子疫学・流行予測ならびに不顕性感染実態解明に関する研究（村上光一）木村班</td> <td>R2～R4</td> <td>ウイルス部</td> </tr> <tr> <td>食品由来感染症の病原体の解析手法及び共有化システムの構築のための研究（鈴木淳）</td> <td>東京都健康安全研究センター</td> <td>H30～R2</td> <td>細菌部</td> </tr> <tr> <td>ムンプスウイルスの分子疫学的解析に関する研究（大石和徳）</td> <td>国立感染症研究所 ウイルス第三部</td> <td>H30～R2</td> <td>ウイルス部</td> </tr> <tr> <td>新興・再興エンテロウイルス感染症の検査・診断・治療・予防法の開発に向けた研究（清水博之）猿木班</td> <td>国立感染症研究所 ウイルス第二部</td> <td>R1～R3</td> <td>ウイルス部</td> </tr> </tbody> </table>	研究区分	研究テーマ(研究代表者等)	連携機関	期間(年度)	担当部	共同研究	病原性ウイルスのプロテオミクス解析（衛生研究所 後藤慶子）	横浜市立大学医学部微生物学（梁 明秀）	H29～R2	ウイルス部	野生動物における人獣共通感染症の網羅的病原体解析に関する研究（衛生研究所 後藤慶子）	群馬バース大学大学院保健科学研究科（木村博一）	H30～R4	ウイルス部	茨城県内におけるカルバペネム耐性菌等の実態調査に関する研究（衛生研究所 相原義之）	国立感染症研究所 県立中央病院 日立総合病院 JAととりて総合医療センター 県立医療大学付属病院 土浦協同病院 筑波メディカルセンター病院	R1～R3	細菌部	核酸認証標準物質を用いた PCR 検査の精度管理システムについての実証研究（衛生研究所 後藤慶子、大澤修一）	産業技術総合研究所	R2～R3	ウイルス部	ゲノム高次構造解析を基盤とする新型コロナウイルスの病原性解明に関する試験研究（衛生研究所 後藤慶子）	群馬バース大学大学院保健科学研究科（木村博一）	R2～R4	ウイルス部	茨城県内におけるリケッチャ保有マダニの浸潤状況の解明（衛生研究所 大澤修一）	筑波大学附属病院感染症科（喜安嘉彦）	R2～R7	ウイルス部	研究協力	病原体ゲノミクスを基礎とした病原体検索システムの利活用に関する研究（黒田誠）村上班	国立感染症研究所 感染症疫学センター	R1～R3	企画情報部	病原体ゲノミクスを基礎とした病原体検索システムの利活用に関する研究（黒田誠）木村班	R1～R3	ウイルス部	ウイルス性下痢症の網羅的分子疫学・流行予測ならびに不顕性感染実態解明に関する研究（村上光一）木村班	R2～R4	ウイルス部	食品由来感染症の病原体の解析手法及び共有化システムの構築のための研究（鈴木淳）	東京都健康安全研究センター	H30～R2	細菌部	ムンプスウイルスの分子疫学的解析に関する研究（大石和徳）	国立感染症研究所 ウイルス第三部	H30～R2	ウイルス部	新興・再興エンテロウイルス感染症の検査・診断・治療・予防法の開発に向けた研究（清水博之）猿木班	国立感染症研究所 ウイルス第二部	R1～R3	ウイルス部	AA
研究区分	研究テーマ(研究代表者等)	連携機関	期間(年度)	担当部																																																				
共同研究	病原性ウイルスのプロテオミクス解析（衛生研究所 後藤慶子）	横浜市立大学医学部微生物学（梁 明秀）	H29～R2	ウイルス部																																																				
	野生動物における人獣共通感染症の網羅的病原体解析に関する研究（衛生研究所 後藤慶子）	群馬バース大学大学院保健科学研究科（木村博一）	H30～R4	ウイルス部																																																				
	茨城県内におけるカルバペネム耐性菌等の実態調査に関する研究（衛生研究所 相原義之）	国立感染症研究所 県立中央病院 日立総合病院 JAととりて総合医療センター 県立医療大学付属病院 土浦協同病院 筑波メディカルセンター病院	R1～R3	細菌部																																																				
	核酸認証標準物質を用いた PCR 検査の精度管理システムについての実証研究（衛生研究所 後藤慶子、大澤修一）	産業技術総合研究所	R2～R3	ウイルス部																																																				
	ゲノム高次構造解析を基盤とする新型コロナウイルスの病原性解明に関する試験研究（衛生研究所 後藤慶子）	群馬バース大学大学院保健科学研究科（木村博一）	R2～R4	ウイルス部																																																				
	茨城県内におけるリケッチャ保有マダニの浸潤状況の解明（衛生研究所 大澤修一）	筑波大学附属病院感染症科（喜安嘉彦）	R2～R7	ウイルス部																																																				
研究協力	病原体ゲノミクスを基礎とした病原体検索システムの利活用に関する研究（黒田誠）村上班	国立感染症研究所 感染症疫学センター	R1～R3	企画情報部																																																				
	病原体ゲノミクスを基礎とした病原体検索システムの利活用に関する研究（黒田誠）木村班		R1～R3	ウイルス部																																																				
	ウイルス性下痢症の網羅的分子疫学・流行予測ならびに不顕性感染実態解明に関する研究（村上光一）木村班		R2～R4	ウイルス部																																																				
	食品由来感染症の病原体の解析手法及び共有化システムの構築のための研究（鈴木淳）	東京都健康安全研究センター	H30～R2	細菌部																																																				
	ムンプスウイルスの分子疫学的解析に関する研究（大石和徳）	国立感染症研究所 ウイルス第三部	H30～R2	ウイルス部																																																				
新興・再興エンテロウイルス感染症の検査・診断・治療・予防法の開発に向けた研究（清水博之）猿木班	国立感染症研究所 ウイルス第二部	R1～R3	ウイルス部																																																					

評価項目 (年度実施計画)	衛生研究所の自己評価		評価委員会評価	
	評価	計画達成の状況	評価	評価における特記事項
ii) 業務の質的向上・効率的化のため実施する方策		<ul style="list-style-type: none"> ○ 地方衛生研究所間の連携 <ul style="list-style-type: none"> ・健康危機発生時相互応援協定による窓口担当者の確認、専門家リストを作成した。 ・地方衛生研究所全国協議会理化学研究部会(2/9)に参加した。(その他の研究部会は、新型コロナウイルス感染症の影響で開催が延期となった。) ・各自治体からの照会、アンケート調査等に協力した。 ○ 県内の県立試験研究機関等との連携 <ul style="list-style-type: none"> 県立健康プラザ, 中央保健所, 精神保健福祉センター及び水戸市保健所と合同で業績発表会を開催(3/5) <ul style="list-style-type: none"> ・健康プラザ 1題 ・中央保健所 2題 ・精神保健福祉センター 1題 ・水戸市保健所 2題 ・衛生研究所 7題 		
4) 調査研究費の獲得	AA	<ul style="list-style-type: none"> ○ 質・量の両面において目標を超えた優れたパフォーマンスを実現 <p>外部資金(特別電源所在県科学技術振興事業補助金)を活用中の2試験研究事業に加え、新規試験研究事業の研究費獲得に向けて茨城県調査研究企画・評価委員会の意見をいただき、研究内容の拡充・見直しを行い、3試験研究事業の外部資金を獲得した。</p> <p>また、新たに令和3年度機器整備事業の外部資金を獲得した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・試験研究事業 3事業 ・機器整備事業 1事業 	AA	○ 質・量の両面において目標を超えた優れたパフォーマンスを実現
5) 内部人材育成	AA	<ul style="list-style-type: none"> ○ 質・量の両面において目標を超えた優れたパフォーマンスを実現 <p>(1) 研修・交流会の確保 新型コロナウイルス感染症の影響で多くの外部研修会が中止される中、研修会情報の収集に努め、積極的に参加した。また、参加者は、研修内容について伝達講習を行い、職場全体の資質向上に努めた。 (主な研修会)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 技術研修 <ul style="list-style-type: none"> 希少感染症診断技術研修会、次世代シーケンサー技術研修会、新型コロナウイルス感染症シンポジウム東京、国立保健医療科学院短期研修(細菌研修)、薬剤耐性菌検査、包装・運搬講習会等 ○ 学会 <ul style="list-style-type: none"> 日本感染症学会、日本臨床ウイルス学会、日本食品衛生学会、茨城県薬剤師学術大会、日本公衆衛生学会、日本結核病学会、日本臨床微生物学会等 ○ 地方衛生研究所全国協議会 全国衛生化学技術協議会等 <p>(2) 修学機会の確保 平成29年度より大学院後期博士課程に職員を1名在学させ、博士号を取得した。</p> <p>(3) 所内研修 所内各部で内部研修を実施し、研鑽できる環境整備に努めるとともに、若手研究員に対しては、確実に業務を遂行できるよう専属のトレーナーを配置し、計画検査や行政依頼検査に先立ち、年間を通じた実務研修(0JT)を実施した。 また、研修会・学会等の参加者が伝達講習を行い、情報共有した。</p> <p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 外部専門家を招聘した研修会 2回 <ul style="list-style-type: none"> ・「新型コロナウイルス研修会」群馬パース大学大学院保健科学研究所 木村博一先生 ・「かんたん経口抗菌薬の使い方」筑波大学附属病院感染症科 喜安嘉彦先生 ○ 研究者倫理に関する研修会等 1回 <ul style="list-style-type: none"> ・新任・復帰研究職員対象所内研修 ○ 業績発表会 1回(演題数:13) <p>(4) 精度管理の実施及び参加 (結果はすべて適合) (主な外部精度管理)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 厚生労働省が実施する感染症病原体外部精度管理事業 インフルエンザウイルス 6検体、カルバペネム耐性腸内細菌科細菌 8検体 ○ 厚生労働省が実施する医薬品試験の精度管理事業 シロスタゾール錠 1検体 ○ 地方衛生研究所全国協議会関東甲信静支部が実施する精度管理(有毒植物) 1検体 ○ (一財)食品薬品安全センターが実施する食品衛生外部精度管理調査(E.coli, 一般細菌数, 黄色ブドウ球菌, サルモネラ属菌, 大腸菌群, 食品添加物, 残留農薬) 11検体 ○ 厚生労働科学研究(新興再興感染症及び予防接種政策推進研究事業)「食品由来感染症の病原体の解析手法及び共有化システムの構築のための研究」腸管出血性大腸菌 4検体 ○ 2019年度厚労科研費「国内のサーベイランスに資する機能的なラボネットワークの強化に関する研究」分担研究「抗酸菌型別分析における制度保証」結核菌 5検体 <p>○ 内部精度管理は、計画検査や行政依頼検査に先立ち、随時実施した。</p>	AA	○ 質・量の両面において目標を超えた優れたパフォーマンスを実現